

福岡県糟屋郡新宮町議会

1 政策づくりと監視機能を十分に発揮している議会

福岡市に隣接する本町は、恵まれた地理的条件や、JR新宮中央駅を中心とした魅力ある新市街地を形成したことなどにより、全国で最も高い人口増加率を誇っている。

現在、特に学校等の教育施設の整備など、子育て環境の充実が喫緊の課題であるとともに、将来必ず訪れる高齢化社会への対応も求められているところである。

このように大きく変動する本町において、多様な民意を的確に町政に反映させるために、より一層議論を深めながら論点を明確にした透明性の高い議会運営が求められている。

◆議会基本条例の制定

二元代表制における議会の役割として、また、新宮町の最高意思決定機関として、執行機関と緊張関係を保ちつつ、事務の執行監視を行うとともに積極的な政策立案や提言を行うことが重要となってきたことから、平成25年12月から特別委員会を設置して条例制定に向けた取り組みを始めた。

平成26年2月からは議員全員による策定作業を行うことを全会一致で決定し、その後は4班に分かれての作業を行い、延べ34回の策定会議を重ねた。

また、並行して先進地の視察や、大学教授を招聘して研修を実施するなど検討も進め、平成26年10月に素案を固め、パブリックコメントを経て、平成27年1月に制定した。

現在、この議会基本条例に基づき議会改革推進会議を設置し、継続的な議会改革の取り組みや、議員間の自由討議の推進を図りながら、政策や条例、意見等の議案提出を積極的に行うよう努めているところである。

2 住民に開かれた議会

議会は、町民に分かりやすい議会運営を心がけること、町民に開かれた存在感のある心豊かな議会を築かなければならないと議会基本条例に明記し、そのために必要な具体的事項を各条項で定め、その実現に向けて取り組んでいるところである。

◆中学生との熟議

議会改革推進会議において、選挙権が18歳以上へと引き下げられたことを受け、中学生に町議会の仕組みや、町の政治について知識を深めてもらおうと、学校運営協議会が実施している「熟議」を平成29年1月に共同で開催することとした。

この「熟議」では、中学生と議員がグループ討議を行い、中学生が日頃感じている素朴な疑問や、まちの将来について率直に意見を交えながら、政治やまちづくりに対する関心を高めてもらう。

◆議会広報の充実

平成10年5月に創刊し、年4回の発行で、現在第75号を数える。

創刊当初から、議員自ら取材、撮影、編集までを行う、まさに手作りの「議

会だより」を町民に届けている。

編集にあたってはページ構成や、目に着きやすい見出しの表現など、町民に分かりやすい紙面作りに努めている。

◆議会との座談会

議会改革推進会議において、議会報告会のあり方を検討し、町民がより気軽に議会との意見交換を可能とするための方策として、座談会を実施することとした。

参加者は小グループでも可能で、テーマや人数は自由とし、場所や時間なども極力参加者の希望に合わせるなど、随時受け付けており、多様なニーズに対応できることになった。

◆議会中継の実施

議会活性化特別委員会において、より開かれた議会にするため、議会のライブ中継及び録画配信の検討を行い、平成25年12月議会から実施している。

これにより、議場に来庁せずとも家庭や職場など、インターネット環境が整えば誰でも気軽に議会の傍聴することが可能となった。

3 地域振興のために特別な取組みをした議会

全国で最も高い人口増加率を誇る本町だが、町内では人口が減少している地域、また、地域振興が遅れている地域もある。

町の計画として、人口減少地域への施策や地域振興が遅れている地域での振興プロジェクトの立ち上げなどを行っているが、議会としても本町の将来を見据えた独自の地域振興策、地域活性化策の調査・研究をし、町に対して意見具申、提案、提言を行っていく必要があると考え、平成28年9月定例会において、議員全員による新宮町地域振興及び地域活性化特別委員会を設置した。

現在検討テーマの抽出作業に着手したところで、今後はテーマ毎に現状把握や課題の整理を進め、新宮町における具体的な地域振興策や活性化に資する政策の立案を目指していく。